

## ■■ささずの傘こそ雨対策の誇り■■

降るなと願っても降る時は降る。降らないに賭けて降られて泣くより、結局降らずに対策が無駄に終わることは大いに満足すべきこと。コミケットの雨対策はこの精神に尽きる。

また、ゲリラ豪雨やタ立ちのような突発的な雨と長時間降る雨天時では、当然必要な雨対策も違ってくる。コミケットが近づいてきたら、天気情報は毎日チェックしよう。

### ■というわけで天気情報要確認！■

天候予測を逐次確認できてゲリラ豪雨やタ立ちの接近を警告する気象情報アプリはスマホにインストールしておきたい（その際には目的地域をビッグサイトのある『江東区』に設定するのを忘れずに）。

■気象庁・天気予報（江東区）

■天気予報アプリ・ウエザーニュース



### ■最初から雨なら■

自宅から朝コミケットに向かう参加者は、朝から雨でも対応はさほど難しくないだろう。多少濡れても問題ないように濡れても乾きやすい乾紡繊維系中心の着衣一式を選び、朝から雨なら気温もやや低めなことが多く、また濡れたまま空調の効いた交通機関や屋内に滞在して身体を冷やして体調を崩すのを防ぐために撥水・防水の上着や鞆を用意し、タオル類や念のための着替えを荷物に加え、化繊の靴下を履き、サンダル類はやめて防水の靴を履き、搬入荷物にはビニール袋を掛け……と、フル装備で出かけることができる。重要なのはこれらの準備に時間がかかるため予定より早起きし、道中も余裕を持って行動できるよう、**やや早めに家を出る**ようこころがけるくらいだ。

しかし主に関東近県以遠からコミケットに遠征してくる参加者は事情が異なるだろう。雨だからといってすでに持って出て来た服装や装備以外を即時調達することは困難で、濡れた場合の着替えも難しい。雨情報が出ているなら前夜のうちに用意を整えるしかない。都心部であればネット検索を駆使することで大規模な100円ショップや夜遅く／朝早めの時間でも営業しているディスカウントストア系や作業用品系のショップも探せる。**翌日雨の予報を見たら即準備に動こう**。そこで着替え、防水スプレー、雨具、タオル、パーカーといった雨対策グッズを用意して、家から組同様に翌朝は早めに会場に向かうことを検討しよう。

### ■突然の雨なら■

タ立にしろゲリラ豪雨にしろ、晴天からいきなり降ってくるわけではない。黒い雲が立ちこめる、風が強めに吹く、雷鳴が聞こえるなど、必ず何らかの兆候がある。気象情報アプリも駆使して、その兆候を掴み、**降り出すまでにある程度の用意を終えておけるかが勝負**だ。降り出したのを感じたら、即座にまず持ち物をビニールで包み、次に自分が雨具を着ける。その上で周囲が混み合っていなかったら、傘を用意。

だからこれらの雨対策用品はすぐに取り出せる場所に入れておかなくてはならない。

靴やバッグ、帽子などは最初から防水性がある物か、防水スプレー処理をしたもので行けばより心強い。

### ●サークル参加者の雨対策は……？

サークル参加者にとって、雨はまさに災厄に等しい。雨の中りんかい線の駅から、またはサークル駐車場から会場まで荷物を搬入出する道中、サークル入場時間に間に合うよう、少しでも荷物を守ろうとするために自分はずぶ濡れになってしまっているサークル参加者は少なくない。

そのままなんとか設営準備を終え、開場も間近になって、効いてきた空調に冷えて感じて着替える余裕も無いことに気付く…これでは体調を崩してしまいかねない。

搬入荷物は事前にガッチリパッキングして、搬入時には例え小雨でもしっかりしたレインウェアを着用、濡れてしまう靴や靴下はサークルスペース内ではスリッパ等を用意して履き替えよう。タオルや雑巾なども多めに用意したい。また、ホール内は暑いばかりでなく、風の通り方次第では時に冷えることもある。薄手のストールやパーカー類は用意しておきたい。

これらの準備にも、当日朝の搬入そのものにも時間が必要だ。雨情報には一般参加者以上に注意を払い、準備時間を作るように心がけよう。